

導入成功事例 No.6 レポート

ネットワーク型デジタコ DTS-C1D

株式会社 **ISC** 様



地域貢献に全員参加で取り組む。 ドライバーが競うように安全運行を推進。



廃棄物処理、排水管メンテナンス、環境コンサルティングを、事業の3本の柱にしているISC様。廃棄物処理では、自治体や一般企業の委託により、各種廃棄物の収集、運搬、処理を行っています。あらゆる要望に対応できるように、パッカー車(写真上)やコンテナ車、ダンプ車、ウイング車など、多彩な車両を保有されています。

導入の きっかけ

「事故ゼロを目指す」という代表取締役園崎様の目標を実現するために、そして地球環境への貢献という企業責任を果たすために、新たに運行管理をお考えだった、ISC様。2012年1月に、ドライブレコーダ搭載ネットワーク型デジタコを導入されました。決め手は、「運行の見える化」。管理部の三津川様に経緯を伺いました。「従来は、事故の有無以外の評価基準はありませんでした。それが、このデジタコなら走行速度や加速・減速など、運行状況が細かくわかる。導入の効果は大きい」と高い評価をいただきました。



管理部 主任 三津川 恭一 様

USER PROFILE

株式会社 ISC

創 業：1978年2月
 本社所在地：広島市佐伯区五日市中央4丁目7番24号
 T E L：082-921-0110
 代 表 者：代表取締役 園崎 義雄
 資 本 金：5,000万円
 売 上 高：約12億円
 従業員数：100名
 事業所数：4カ所

課題

- 事故の防止、安全運転の推進
- ドライバーまかせの運行
- 排気ガス、CO₂排出量の削減

効果

- 安全運転の評価基準の明確化
- ドライバー全員の安全意識の高まり
- ストップ&ゴー運行でも約4%の燃費向上



「大きな投資だった。だが、成果も大きい」

「口頭で安全運転を奨励しても、あまり効果はなかった」と、園崎社長様。デジタコ導入という投資を行った結果、安全面でも経済面でも大きな成果が得られたと満足いただいています。

運行管理の メリット

運行のデータ化で、ほめる機会が増加。

「デジタコ導入前は安全指導が精神論になりがちでしたが、今はすべてデータできめ細かく運行管理ができます」と、三津川様。運行管理者とドライバーで、毎日日報画面を見ながら運行状況を確認。違反があれば、その原因を話し合うなど安全指導したことで、急発進や急加減速が大幅に減少。「ドライバーをほめる材料を見つけられることも大きな収穫」と好評です。

安全面の メリット

ハイスコア目指して安全運行を競う。

全社で実施している安全運転ランキングについては「反対者が多いと思って最初は部門別で実施したのですが、ドライバーみずから全社でやろうと言ってきて。驚きでした」。ハイスコアを全員が目指しているほどモチベーションが高く、ドライバー自身が改善策を考え、速度違反、事故の再発はほぼ皆無になっています。

経済面の メリット

予想の2倍以上、燃費が3.9%向上。

安全、スムーズな運行は、経済面でも効果を発揮。「33台あるパッカー車は発進・停止の繰り返しなので、全社的には1.5%程度の燃費効果を予測していました。ところが、実際は3.9%も向上。ドライバーがアクセルワークに注意してくれているおかげですね」。保険割引適用率もワンランクアップ。導入費用も3~4年で回収できるとお考えです。

企業 イメージの 向上

安全・環境を考える「愛される会社」へ。

安全運転の徹底と、燃料消費量や排出ガス、CO₂排出量の削減を実現するデジタコ。導入メリットは他にもあります。他社車両へのクレームが間違ってもISC様に届いた場合でも、自社車両の運行データを元に潔白を証明できます。園崎社長様が目指す「地域に愛される会社」「安全・安心をお届けする会社」に向かって、確実に前進されています。



強制したわけではない、ドライバー全員が安全運転に取り組んでくれたと、三津川様



2台設置されたカメラの右側はドライバー撮影用後進時の安全確認動作などをチェック



大きく表示された社名ロゴは品質への自信の表れ

ステッカーもオリジナル作成



ISC様の幅広い業務を支える本社スタッフのみなさんと園崎社長様(写真左手前)



日報を見ながら運行報告と安全指導を実施
必要な時には運行状況を確認可能

● お問い合わせ先

■ 製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報機器営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NOF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5023

<http://www.transtron.com/>